

## 阿波おどり運営協議会からの意見に対する対応状況

区分	意見	対応状況	
チケット料金	有料栈敷席の内、大多数が県外の観光客のS・A席の料金はもっと上げる一方で、C席は500円（ワンコイン）に値下げの検討が必要。	○	<p>経費負担が増えている中、将来に渡って安定的な運営を行うためにも適切な料金設定は必要と考えている。</p> <p>2020阿波おどりチケットの料金は、団体割引の導入や発券手数料の免除、消費増税による経費増などを踏まえて、1枚200円の値上げを基本としたい。</p> <p>なお、選抜阿波おどりのA席は前年度までの自由席を指定席へ変更するため800円アップとするとともに、有料演舞場についてはS席を400円アップとする一方で、B席、C席は価格を据え置きとしたい。</p>
	前夜祭の特別指定席の値段はもう少し高くできるのではないかな。		
	料金設定に緩急が必要。		
	チケット料金を下げることが販売促進につながると思わないので、むしろダイナミックプライシングを導入して、早期予約は安く、人気の席は高くなど、メリハリを効かせたほうが良い。		
	料金については、提案額でいいのではないかな。	×	
	料金は現状のままでよい。		
料金は現状のまま。	○	<p>コンビニなどの発券手数料は興行主でコントロールできないが、興行主が直接販売を行う団体販売と対面販売については発券手数料を無料としたい。</p>	
発券手数料を代金の中に含ませる。			
	発券手数料（108円）がかからないのがいいのではないかな。	○	<p>阿波おどりを本格的に楽しみたいというニーズに応えるため、選抜阿波おどり出演連などが多く踊るプラチナステージ（仮称）を設定したい。</p>
	演舞場ごとに、特色のある演出プログラムを充実し、多様な料金体系の実現と弾力的に販売することでチケット販売率の向上を図る。		

区分	意見	対応状況	
チケット料金	<p>チケット料金の適正化は必要である。地元の人が気軽に何日でも見に来られるような工夫がある。県外から一度だけ見に来る者と分けることも必要。</p>	○	<p>徳島県民が主な利用客となる対面販売所については、お客様の発券手数料負担をなくすことで金銭的負担を軽減する。</p> <p>また、今年度は台風で実現に至らなかったが市内(県内)小学生の無料招待も、チケット販売が芳しくない公演があれば実施を検討したい。</p>
チケットの販売方法	<p>販売スケジュールは、6月1日から販売開始。</p> <p>販売時期をもっと早める</p> <p>販売時期の早期化・早期割引の実施。</p> <p>団体販売は早期販売をして、制約は最小限にした方が良い。</p> <p>販売スケジュールはできるだけ早く。</p> <p>売出しは早いほどいいのではどうか。</p> <p>販売スケジュールで、団体販売に関してはできる限り前倒しとすることが望ましく、2月申込開始となるのであればAGT各社に対するアナウンスは、前年秋頃にはすべきと考える。</p>	○	<p>1月中に事業体の事業計画が承認されれば、2月から団体販売、6月上旬から一般発売を開始するよう、販売スケジュールの前倒しを行いたい。</p>
	<p>団体販売については、期間を設けて無手数料にてキャンセルできるように検討すればどうか。</p>	○	<p>ご提案のとおり、団体販売については申込後、一定のキャンセル期間を設けるようにしたい。</p>

区分	意見	対応状況	
チケットの販売方法	事前に旅行会社以外でチケット購入希望者を集約できる企業や団体にも大口申し込みの受付をしてはどうか。	○	団体販売は旅行会社に限らず、有料演舞場は13枚以上、選抜阿波おどりは6枚以上から誰でも購入可能である。
	団体チケットを販売する際にバス駐車場の空き状況等を勘案しながら販売して欲しい。	○	今年度は吉野川河川敷からのシャトルバスが非常に混雑したため、来年度はよりきめ細やかに対応したい。
	販売方法は、5か所ほどで販売するのが望ましい。	○	<p>対面販売はネットやコンビニでの購入に不慣れなお客様を中心に好評をいただいたため、継続して実施するほか、窓口拡大について検討したい。</p> <p>販売場所はこれからの調整になるが、ご意見のとおり立ち寄りやすい場所を検討したい。</p> <p>また、その一方でネットや電話など多様な購入方法は引き続き確保する。</p>
	対面販売の窓口を増やしてはどうか。		
	ネットの時代だからこそ、フェイス to フェイスの販売をもっと増やすべき。		
	対面販売は立ち寄りやすい（市役所1階など）の場を検討して欲しい。		
	販売方法は、ネット、手売りをミックスで。一般の人にわかりやすくする。		
	今年の徳島市内の対面販売所はわかりにくく、さらに当初は椅子すらなかったので、来年は最初から“客にやさしい販売所”に。	○	初めての取組みで不慣れな部分もあったため、今年度の反省点を生かして改善を図りたい。
	当日券の販売場所・販売席・枚数がわかるようにHPなどで告知が必要。	○	<p>まずは前売りチケットの販売率を上げることが重要であると考えているが、その上で当日券を買い求めやすいよう事前の案内方法などは見直したい。</p> <p>当日券の販売場所は設置場所の制限があるため増設はなかなか難しいが、よく検討したい。</p>
	栈敷に空席が目立った。売れ残りが多くあるのであれば、当日券販売所を目立つところに多く設置し売り出せばよいのでは。		

区分	意見	対応状況	
その他のチケット	チケット代金の1%を徳島市の子供達の為に使って欲しい。	○	まずは安定的な事業収入をあげることが先決であるが、チケット販売が芳しくない公演があれば、小学生の無料招待なども検討したい。
	高齢者はパソコンも使えないしコンビニにも行かないので、いい席のチケットを購入する場合は知り合いにお願いするなどして購入せざるを得ず、地元高齢者の“阿波おどり離れ”の一因になっていると思う。キョードー東京などで電話購入もできるようだが、そもそも、これらの情報もWEBページを見たり、パンフレットを入手しなければ分からず、高齢者が目にする機会は少ないため、阿波おどりのPRやチケットの購入情報を新聞の折り込み広告にして、全県下に周知すればどうか。	○	全体の収支を見ながらより効果的な広報手段については検討を行いたい。 新聞については広告出稿も検討するが、できる限り地元の阿波おどりに関することなので、記事として大きく扱っていただき、一緒に阿波おどりを盛り上げていただけるよう希望する。
	阿波おどりが雨で中止の場合にアスティなどを利用して公演を行うのはどうか。また、払戻しをする場合でも簡単に手続きできるようにしていただきたい。	△	今年度のように雨天中止となった場合に踊れる場所の確保は必要だと思うが、有料演舞場には数万人の観客がいるため、十分な規模の代替公演が不可能であること、観客や踊り手の輸送手段が確保できないことが課題となる。 また、東新町アーケードについては、あらかじめおどりロードとすることで、今年度のように連が排除されるようなことにならないよう運営を行いたい。 なお、払い戻しについては今年度を実施した方法が限界であるため、購入方法によってはご不便をおかけするがご協力いただきたい。
開催時間	東新町アーケードおどりロードについては、できるだけ早い時間帯から開演して欲しい。	○	商店街及び昼の観光活性化のため、東新町おどりロードは15時00分からの開始で連の受付を行いたい。
	演舞終了は22時に変更。	○	今回の提案は22時終了としている。

区分	意見	対応状況	
開催時間	あまり早い時間（PM5時）では、観客の方の熱中症等が心配。	○	評価委員会からも県外誘客を進めるためにはさらなる前倒しが必要と提言されているが、他の運営協議会委員の意見にもあるとおり、連員の集合や熱中症の心配などがあるため、早めても17時30分開始が限界と考えている。
	栈敷の開始時間を17時からとする。	×	
開催時間	開催時間を17時30分にするについては賛成。	○	<b>【継続審議事項】</b> 地元や関係団体への意見聴取を行った結果、開催時間の前倒しについては概ね同意をいただけていることから、前倒しを行いたいと考えている。 踊り手の集合などで連には負担もあるかもしれないが、将来にわたって阿波おどりを盛り上げていくためには団体販売の強化が不可欠と考えており、そのためにも開催時間の前倒しは必要であるため、協力をお願いしたい。
	公演時間の前倒しについて、公園管理上は特設の支障はない。		
	公演時間の短縮+開演時間の前倒し案及び連の張り付けスケジュール案については事務局案に賛成したい。		
開催時間	踊りの開始時間を早めるのは、仕事の関係などで開始時間に連員の確保ができないおそれがある。交通規制の問題もある。待機時間、移動時間の必要から1日に踊れる回数には限度がある。	×	
開催時間	午後10時半までの開催は本場・徳島ならではの魅力であり、また、県内宿泊や夜間消費への影響が未知数であることから、終了時間前倒しは連や観光関係業界等の皆様の意見も聞き、分析した上で、慎重に検討すべきと考える。	×	<b>【継続審議事項】</b> 午後10時半までの開催は観光客、近隣住民のいずれにとっても望ましくない状況であるのに加え、終了時間を前倒しすることで公演終了後の飲食など周辺商店街の活性化にもつながると考えている。
	現状のままでよい。		
開催時間	スタート時間等のバリエーションが多いと、一般の方にはわかりにくく、チケット販売後の対応が大変。	△	<b>【継続審議事項】</b> チケット購入者の混乱がないよう、ホームページや見物ガイドなどを工夫して分かりやすい周知に努めたい。

区分	意見	対応状況	
開催時間	開始時間を前倒しして終了時間も早くすることについて、県外に帰る方たちのためという理由があると思うが、公共交通機関の臨時便を増やすことで対応できるのではないか。	△	公共交通機関の臨時便を出すことも一般客に対しては有効な対策であると思うが、課題になっているのは徳島を出発する時間が遅いと団体ツアー客が地元に戻ってから自宅までの足がなくなることである。 また、宿泊を伴うツアーであっても22時30分終了だと宿への到着が日を超えてしまうことから敬遠される傾向にあるため、2部の販売促進には終了時間を早めることが効果的だと考えている。
演舞場の構成	無料演舞場は街を歩きながら自由に楽しめ、観光客の皆様にも人気が高いスポットであるとともに、徳島の阿波おどりの裾野の広さの証である一般連や企業連、学生連が踊りを披露できる舞台となっており、有料演舞場で有名連を増やした影響で、一般連や企業連、学生連が有料演舞場で踊れる機会が減ることから、可能な限り、現在の無料演舞場の規模を維持すべきと考える。	○	今回の無料演舞場の見直しは規模の縮小ではなく、雑踏の分散化と動線の複線化により、安心・安全なにぎわいの創出を目指したものである。 ご意見のとおり、無料演舞場の規模は維持したい。
	特に、元町演舞場の栈敷席の撤去に加え、眉山に向かったメインストリートであり一般連や学生連にも人気の高い新町橋演舞場（東）の栈敷席の撤去により集客力が低下すると、逆に両国橋付近に観光客が集中することが懸念されるため、影響を分析した上で慎重に検討すべきと考える。	○	今回提案しているのは新町橋演舞場の廃止が主眼ではなく、西新町おどり広場と東新町おどりロードの新設により、輪おどり会場の分散化と動線の複線化を図ろうとするものである。 ご意見のとおり、両国橋付近の雑踏については課題と認識しているため、その対策として実施したい。
	藍場浜演舞場周辺の混雑解消ならびに露店の廃止は最優先で実施すべき。	○	ご意見のとおり、安全な環境を確保するため露店の移設を協議している。

区分	意見	対応状況	
演舞場の構成	会場内の回遊性を高めるとともに有料演舞場の満席を目指し、連および観光客の移動に不便な市役所前は廃止、もしくは阿波踊り体験プログラム充実の使用検討。	○	<p>【継続審議事項】</p> <p>現在のチケット販売率を踏まえると、収支バランスの問題だけでなく、踊り手のモチベーションアップのためにも、まずは各演舞場の観客動員率を上げることが重要と考えている。</p> <p>市役所周辺について当初は交通規制区域から外すことも検討していたが、最終的に規制を維持する対応で考えることとしたため、将来的に来客数が増加し、客席数が不足する状態となった場合は、その時点で市役所前演舞場の復活を検討できるようにしておきたい。</p>
	秋田町と市役所前を廃止し、交通を円滑にする。市役所前をバス移動場所として確保。		
	市役所前演舞場を廃止してバスの乗降場所にするについても賛成である。		
	現状のままでよい。	×	
	演舞場の構成は現状を希望する。無料演舞場での出演を控えてきた経過があり、仮に有料枠数が減少することになれば必然的に有名連は無料枠数へ流れる。		
	市役所前演舞場は1度廃止するとなかなか復活できない。踊りのプログラム等を毎年変更すると案内する側としても困惑する。		
	市役所前演舞場を廃止するという案であるが、お客様が入らないから廃止という流れではなく、まずはお客様を呼ぶ方法を考えて実行することが先決である。廃止はやれることをすべてやった後である。	△	<p>両国本町演舞場は最大の無料演舞場であり、観客にも踊り子にも有料演舞場と匹敵するぐらい人気が高い。</p> <p>枠数の高さを下げると席数が減ってしまうため、今後の課題として捉えておきたい。</p>
	両国本町商店街の枠数は、有料席より多くの方に最後まで残って阿波おどりを楽しまれていると感じる。しかし、枠数席が以前と比べて減少している。枠数の高さが高い。踊り手と近くなる方が盛り上がる。		



区分	意見	対応状況	
演舞場の構成	規制区域内の栈敷や露店の配置の検討においては、救急車等の進入口また動線など、消防活動上支障のないよう配慮して欲しい。	○	来場者の安全確保は最優先事項であるため、事前に消防や警察とも十分協議を行いたい。
	藍場浜演舞場の特別観覧席新設など、栈敷の校正変更の検討においては、観覧者また演舞者の避難上支障のないよう配慮いただきたい。		
	正式な「輪踊り」エリアを数か所設置し、2段程度の低い栈敷（無料）で囲み、連の個性的な演出が見られたり、お客様が飛び入りで参加できるような場所を設置すればどうか。「輪踊り栈敷」は、栈敷毎に学生やボランティアで運営し、それぞれが演出を企画する等、お客様が「楽しい！来年も来たい！」と感じられるような場所をつくってはどうか。	○	ご意見のとおり、「西新町おどり広場」として輪踊りを中心とした無料の栈敷席を設置したい。
	新町橋演舞場東側廃止、東新町アーケードおどりロードについて詳しく教えて欲しい。	○	東新町おどりロードは、東新町一丁目のアーケード内に連を流そうとする取り組みであり、基本的には新町橋演舞場（東）に代わる無料演舞場として位置付けている。 これにより観光客の動線を複線化するとともに、商店街への人の流れを生み出して、地元経済・商店街の活性化につなげることができればと考えている。
	無料演舞場を廃止して、安くてもいいので料金を徴収するのはどうか。	△	運営費面では助かるが、観光客が気軽に阿波おどりを楽しめるとともに、地元の人が気軽に立ち寄れる無料演舞場も必要である。 有料にするのではなく、一部で栈敷席の設置を取りやめるなど経費節減を図りながら、収支の均衡を保ちたい。
	藍場浜演舞場において特別観覧席を設ける場合、現在以上の栈敷規模とならないよう検討して欲しい。	△	できる限り現在の座席数を減らさないように特別席を設けたいと考えているが、事前に十分協議したい。



区分	意見	対応状況	
プログラム	現状のままでよい。	×	アンケートでも多くの不満が出されていることから、有料演舞場はプログラムの充実が必要と考えている。
	有名連を必ず 20 分位の間隔で入場させる。	△	ご意見のとおり優先連の出演回数を増やすことも検討したいが、今年度に行った 30 分ごとの張付でも日によっては優先連が足りなかったため、現在の 4 有料演舞場体制では難しいかもしれない。 なお、優先申込基準を厳格化したため、プログラム自体は充実化が図られる見込みである。
	連の張り付けは、参加連に大きな不満が残らないよう、十分に協議する機会を設けて進めていく。	○	できる限り早めの周知に努めたい。
	席数やプログラム等については、イベント開催経験豊富なキョードー東京共同事業体の裁量に大きく委ねる。	○	席数は仕様書に定められた数を下回る見直しとなる場合は実行委員会と協議を行い、承認を得る必要がある。 プログラムはある程度事業体の裁量で自由にしてもらう部分であるため、基本的にはお任せしたい。
	栈敷の中で連が間延びしないよう中間に先導員を配置。	△	スタッフ配置を考える中での参考としたい。
その他の演舞場	企業連の踊りの質を向上させるために、有名連の指導を受けられるようになると良い。	—	主催者としては関与できないので、個別の企業から有名連にお願いしてもらうこととなる。

区分	意見	対応状況	
その他の演舞場	客が昨年より少なかった。それもあり混乱はなかった。連の出も少なかったようである。	○	来年度はより多くのお客様にお越しいただけるよう主催者としても取り組んでいくので、運営協議会の委員にも最大限のご協力をお願いしたい。
	阿波おどりの衣装等の貸し出し（長時間や一時貸し）を拡充するとともに、撮影スポットの新設を図る。	△	現在もにわか連のハッピーの貸し出しを行っているため、その貸出状況を踏まえて拡大を検討したい。
参加費の額	障害者連ならびに学生連には大幅な割引を適用しては。	○	障がい者連や高校生以下の学生連は無料、また、大学生連は1回1,000円と大幅な負担軽減を図っている。
	学生から徴収するのであれば、もう少し低額にして欲しい。	△	高校生以下は無料、大学生連は1回1,000円なので、これ以上の値下げは難しいと考えられる。 ただし、演舞場以外（おどりロード、おどり舞台、おどり広場）については参加費を無料としたことに加え、次世代のおどり連育成のため、特に練習を積んでいる学生連については主催者から有料演舞場への出演依頼を行うことも検討したい（依頼した枠は参加費無料）。
	改定案を支持する。加えて、枠数・時間の指定にあたっては参加費とは別に5,000～10,000円を徴収する。	○	新たに協賛枠を設けるため、協賛金（金額は検討中）を支払った場合は枠数や時間の指定を可能としたい。
	企業連に参加してもらえば、企業のチラシや試供品、粗品などを配布する、PRする代わりに参加費（広告費）として値上げしてもいい。	○	徳島の阿波おどりに多くの企業連が参加しており、その方々にインセンティブを与えることが参加の拡大にもつながっていくと考えられるため、観客からの苦情につながらない方法を検討したい。
	企業連として参加費を徴収する意味では、企業PRの場を設けることも検討すべきではないか。	○	

区分	意見	対応状況	
参加費の額	企業連の区分については、大企業と中小企業で区分するのではなく、参加人数で区分すればどうか。	△	中小企業への配慮から大企業と中小企業で参加費を分けてはどうかと考えていたが、判断基準が難しいことから企業連として一本化したい。
	金額はもう少し安くてもいいのでは（無料の方向も含めて）	○	ご意見を踏まえて、演舞場以外（おどりロード、おどり舞台、おどり広場）については参加費を無料としたい。
参加費の徴収方法・基準	阿波おどりが地域の伝統芸能であり続けるためには参加費の徴収はしないで欲しい。	△	参加費制度は「みんなで支えあっていく阿波おどり」の基本理念に基づき導入された制度であり、現在の事業収支を踏まえて基本的には継続したい。
	参加費制度は維持し、効果を詳しく検証の上、改めてその存続を議論すべき。		ただし、ご意見にもあるとおり地域の伝統芸能として阿波おどりの裾野が広がるという視点も非常に重要であるため、演舞場以外（おどりロード、おどり舞台、おどり広場）については参加費を無料としたい。
	「みんなで支えあっていく阿波おどり」の実現を継続するため、全ての連から原則参加費を徴収しつつ、参加にあたっては鳴り物や衣装など自己負担分も相当額になる実情に配慮した金額設定にすべき。		
	有名連各連、1年間有料練習場を借りて踊り練習をしている。できれば、参加費については免除して欲しい。参加費が必要と決定すれば従う。		有名連のみ無料とした今年度の徴収基準には、一般連から多くの不満の声が寄せられたため、基本的には一律1回3千円の参加費負担をお願いしたい。
有名連からは参加費を徴収しないでいただきたい。	△	ただし、優先連が有料演舞場で踊るのは、主催者から張付を行った場合や企業連などに帯同して踊る場合が大半であるため、優先連が参加費を支払うケースはほとんどないと考えられる。 また、演舞場以外（おどりロード、おどり舞台、おどり広場）については、参加費を無料としたい。	

区分	意見	対応状況	
参加費の徴収方法・基準	連からの参加費も広く安く。	○	昨年度は設けていた有名連と一般連の区分を廃止したため、基本的にはすべての連から徴収することとなる。
	基準はわからないが、有名連からも参加費を徴収する。		また、昨年度は1日当たりの設定としていたが、参加回数が少ない連も多いことに配慮して、1回当たりの回数設定に見直すことで連の金銭的負担は減ると考えている。
	もう少し徴収時期を早めて欲しい（支払い期限に間に合わない）。	○	優先連の張付状況にもよるが、全体的に申込スケジュールを前倒しすることで支払期限に余裕をもたせたい。
	参加費の改定案には基本的には賛成したい。 ただし、公平性の観点から参加費を無料とした有名連等については、連名を公表するなど透明性を図る必要があると思われる。	○	今回は1回ごとの参加費設定であるため、特定の連の参加費がすべて無料となる訳ではなく、主催者からの出演依頼に応じた分のみが無料となる。
	有名連等の参加費無料とした連に関しては、おどり開催期間を通して最低出演数（うち2部出演数）のラインを設けて事務局の張り付けに対して出演義務を課すことはどうか。	○	今回の見直しにより日額設定から回数設定に変更となるため、参加費が無料となるのは主催者からの出演依頼に応じた分のみとなる。
その他の参加費	参加費を払っている連から「○○は払ってないのに踊らすのはおかしい」とのクレームがあった。	○	現場で急きょ連の呼び込みをする場合があるが、その場合は参加費無料としていたため制度上の問題はない。 しかしながら、参加費を支払っている連からすると不公平感を持つことは理解できるため、まずは可能な限り現場で連を探さなくても良いプログラムを組むことが重要と考えている。 なお、演舞場以外（おどりロード、おどり舞台、おどり広場）については参加費を無料とするため、演舞場以外で同様の問題は発生しなくなる。

区分	意見	対応状況	
その他の参加費	参加費については400万円程度の収入にしかないのであれば、その分棧敷保管に係る倉庫代を削減すれば良い。	△	参加費を徴収することと棧敷保管の倉庫代を支払うことは別問題であるため、参加費を廃止する財源として保管料を下げてもらうことにはならない。 なお、倉庫代については少なくない費用が毎年発生するため、より安価で預けられる倉庫は引き続き探したい。
観光バス・シャトルバス運行	市役所前演舞場が廃止になって貸切バスの乗降場所と話しが出ているようだが、運行経路が狭道で円滑な運行ができないと予想される。変更する場合は四国電力前の線路沿い～市役所までの線路沿いをバス専用道路に、四国電力前を通過するので非常に危険が伴うことが予想される。	○	【継続審議事項】 当初は四国電力前を通るルートを想定していたが、ご意見のとおり線路際の道路は幅6mで大型バスを通すには若干狭いことが課題である。 また、NHKやよんでんプラザで踊りをしており、雑踏の中をバスが抜けるのは危険であるという指摘もあるため、市役所の南側へ抜けるルートを基本とした。
市役所前演舞場を廃止してバスの乗降場所を設置するのであれば、国道県道が混雑する中で、どのような運用するのか。 道路管理者、警察と十分な協議をお願いしたい。 また、交通規制についても道路管理者と十分な協議をお願いしたい。			
市役所前演舞場の駐車場化は、車の動線等を考えると無理。			
	シャトルバス事業については、収支のバランスが著しく悪いところから収支改善に向けた取り組みが必要と考える。 観覧者の開場までの移動コストを勘案すれば、マイカー利用者に対して過度に有利な設定になっていると思われる。 収支改善として、鉄道やバスなどの他の交通モード利用者の負担や市内駐車場利用者の負担を考慮しつつ、料金を適正な価格に見直すことが負担の公平性の担保に繋がるので検討してはどうか。	△	シャトルバス料金に関しては、前年度の片道100円から200円に今年度値上げを行ったところであり、来年度については同じ価格を維持したい。 なお、市バスの基本運賃が210円であることを踏まえると、これ以上の値上げはなかなか受け入れられないのではないかと考えている。

区分	意見	対応状況	
観光バス・シャトルバス運行	シャトルバスの混雑解消には料金の授受等の改善、団体客へのチケットの工夫があれば解消にはならなくとも混雑の改善にはなると思う。	○	料金の授受等の改善や団体客へのチケットの工夫なども今後検討していくべきことであるが、まずの問題は道路が混雑していることであるため、現在の吉野川河川敷を中心とする運行ルートが本当に望ましいのか検討したい。
	一案として、シャトルバスの料金については、一人毎の料金徴収ではなく、自動車1台単位で徴収してはどうか。軽・普通・ワゴン車などクラス分けで徴収（駐車料金+シャトルバス往復料金）し、シャトルバスの乗車人員数のバス利用券を配布してはどうか。これにより、自動車の乗り合わせが促進され、交通渋滞の緩和や交通事故の減少など様々な効果が期待されると考える。	△	新しい料金徴収の方法であり、渋滞緩和策として乗り合わせの促進にもつながると考えられる。 受付から料金収受まで具体的なオペレーションを考える必要があるため来年度から導入することは難しいかもしれないが、より円滑な運行方法を考える上で今後の参考とさせていただきたい。
	おどり期間中のクルーズ船寄港に対するフォローも必要と考える。	○	【継続審議事項】 クルーズ船のバスについても市役所前で受け入れる。
運営	運営に関わる赤字の負担を担う組織に最大限の権限を付与し、直接担わない組織はサポートに徹するスキームが不可欠。	○	主催者は阿波おどり実行委員会であるため最終判断は実行委員会が行うが、そのベースとなる見直し提案は共同事業体の意向を最優先して作成するため、事務局はサポート役に徹したい。
	実行委員会の委員が阿波おどり当日現場にいなかったのではないかと。以前の実行委員会であれば桟敷等に委員がいて運営を行っていた。	—	団体として配置を依頼していたため必ず実行委員本人とは限らないが、いずれの日も本部席には実行委員が配置されていた。
	昨年の有識者会議で参加費を徴収するべきだと意見していた委員について、実際に自分が参加費を支払う立場になったからといって参加費制度を批判している者を評価委員会の委員に入れるのはどうか。	—	ご指摘の委員は、自分が参加費を支払う立場になったからではなく、新たに導入した制度について様々な方面からの声を聞いた結果として意見を変えたと理解している。

区分	意見	対応状況	
運営	<p>観光協会が阿波おどりを実施していた時は47年間で4億3千万円、1年に換算すると平均900万円程度の赤字であった。それがこの2年で大幅な赤字となっている。今年は台風だったので仕方がないとしても、そもそもの元のやり方で良かったのではないかと。</p>	—	<p>昨年度に設置した有識者会議の提言書でも収支責任の明確化は重要とされているため、最終的に赤字決算になることはあるとしても、まずは単年度ごとに黒字決算となるよう事業を見直す必要があると考えている。</p>
	<p>各委託業務については、随意契約ではなく、できる限り公開入札とすべきと考える。</p>	○	<p>収入アップと同じぐらい支出削減は重要であるが、阿波おどり事業の特殊性や規模感から必ずしも競争相手がいる契約ばかりではないことが課題である。 その中でもできる限り競争原理が働くよう、公開入札の導入を事業体も検討するとのことである。</p>
契約内容	<p>資料1で2019阿波おどり事業決算見込み報告書、資料2と検討事項と今後の方向性が示された。当初に徳島市と民間3社共同事業体とで契約がなされ、事業仕様書により、5年間の契約書に調印されたと聞いている。収支において、契約の通り500万円の固定納付金があり、収支117百万円余の赤字となっている。 そこで今回大きな赤字が出たので改めて、契約書を提示し、今後の方向性においてアンケートによる、チケット料金、演舞場、参加費等についてどこまで変更できるかどうかの検討が必要。</p>	—	<p>契約変更は赤字だからではなく、運営協議会をはじめとする関係各所からの意見を踏まえて、阿波おどりをより良くするために必要な見直しを行うための変更であるかがポイントとなる。 契約書の規定上は業務仕様書を変更することに問題はないため、より良い阿波おどりの実現に向けて真に必要な見直しであるかを見極めて判断することが求められると考えている。</p>
会場	<p>障害者、高齢者、外国人、県内外の参加者・観光客にやさしい会場の整備が必要。</p>	○	<p>様々な方の来場に備えたアナウンスや情報発信、案内スタッフなどの充実が必要と考えているので、できる限りの対応は充実させたい。</p>
	<p>集中フードコート設営。</p>	△	<p>ご提案の集中フードコートは事業体もぜひ設営したいとのことであるが、現状では実施に適した場所が確保できていないため、今後の検討課題としたい。</p>



区分	意見	対応状況	
協力体制	東京・高円寺の阿波踊りの認知度が向上する影響で、徳島の阿波おどりが相対的に地盤沈下しないよう危機意識を持って協力すべき時期だという認識を全関係者が共有すべき。	○	ぜひ運営協議会の委員をはじめ、阿波おどり関係者全員の前向きな協力をお願いしたい。
	県外からの来訪者が昼間の時間帯に楽しめるイベントや仕掛けを豊富に用意すべく、県ならびに徳島市とその周辺市町村が連携して対策に取り組む体制の構築を。	○	昼の観光活性化のため、東新町おどりロードは15時からの開演を予定している。 また、今年度に取り組んだチケット購入特典（観光施設の割引など）についても、協賛施設の拡大などさらなる充実に努めたい。
	阿波おどり事業評価委員会、阿波おどり運営協議会があるが、意見をすることも大切だが、できることでの協力も必要。 その一つとして、委員がチケットを50枚、100枚と購入し、販売向上に協力する方法はどうか。	○	チケット販売率を上げることが最重要課題であるため、共同事業体に任せきりではなく、運営協議会の委員にも最大限のご協力をお願いしたい。 なお、団体としてまとめていただける場合は先行販売を行うとともに、100枚以上は5%の団体割引も適用する。
広報・報道	当協会をはじめ阿波おどりの取材・中継にかかわる全報道・放送機関からの要望として報道対応責任者と報道・放送関係者の事前の顔合わせを行ったうえで、報道関係向けの事前説明会を最低でも1回は開催してほしい。	○	2020阿波おどりでは早めにプレスガイドラインを作成し、報道関係向けの事前説明会も検討したい。
	全国（特に東京、大阪）に早い時期に宣伝を行う必要がある。年が明けた段階で「今年の阿波おどり」のテレビ広告や看板広告を行う必要がある。2019年度のように4月になってからでは出遅れとなる。	○	予定どおり1月中に事業体で作成する事業計画が承認されれば2月からチケットの売り出しを開始するなど、早めのPRに努めたい。
インバウンド対応	インバウンド枠を宿とセットで確保し、世界各地の人を呼び込むようにするのはどうか。	○	旅行エージェントなどの取り組みに応じてチケットは確保したい。

区分	意見	対応状況	
その他	<p>興行としての阿波おどり、文化としての阿波おどりを区別して議論を進めなければ、いつまでも赤字・黒字という問題で前に進めなくなる。</p>	○	<p>有料演舞場と無料演舞場の差別化を図ることで、ご意見のような区別が進んでいくと考えている。</p>
	<p>露店の出店場所が近隣住民の迷惑にならないよう、特にゴミ問題の徹底が必要。</p>	○	<p>露店は雑踏解消を目的として一部移設を行うとともに、ゴミが適切に分別・廃棄されるよう、ゴミ箱設置個所の増設や設置場所の見直し、見回り体制などを強化したい。</p>
	<p>有償ボランティアに対してのメリットが少ない。</p>	△	<p>阿波おどりは地域みんなで支えあっていく必要があるため、ボランティアは目に見えるメリットを求めるのではなく、阿波おどりを支える一員として参加して欲しい。</p>
	<p>青年団体の徳島青年会議所の理事長や徳島商工会議所の青年部の会長にも会議に出席いただき意見をもらう。</p>	△	<p>実行委員会に商工会議所や青年会議所も参加しているが、正式に参加の要望があれば検討したい。</p>
	<p>有名連の定義の見直しをすべき。誰もがわかるものを。</p>	○	<p>2019 阿波おどりでは、阿波おどり振興協会、徳島県阿波踊り協会、徳島県阿波おどり保存協会の3団体に所属する74連を「有名連」と定義したが、2020 阿波おどりでは、連が客観的にどう評価されているかを重視するとともに、呼称を「有名連」から「優先連」に変更したい。</p>
	<p>街角のどこでも、いつでも踊りに参加できるのが徳島の阿波おどりの魅力である。徳島の阿波おどりが高円寺、南越谷と区別される部分であり、過度な規制や統制は必要ないと思う。</p>	△	<p>ご意見のとおり過度な規制は必要ないかもしれないが、事故や事件の発生を未然に防止し、安心・安全な祭りとすることはさらに重要であると考えている。 そのバランスを取りながら運営したいと思うので、参加者の皆さんにも安心・安全な運営にご協力いただきたい。</p>